

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第1報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年4月7日

1. 最も数が多かった種類 (優占種)

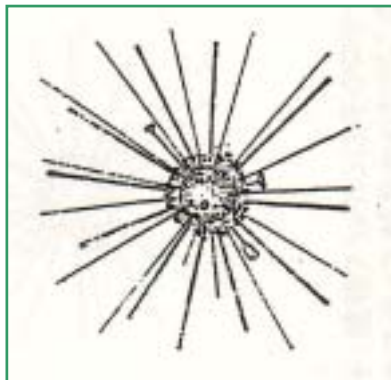
植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

殻面は円形で、その直径は4～10 μmと小さい。
多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



Raphidocystis sp.
(ラフィドキスティス)
太陽虫類

細胞は球形で多数の仮足が放射状に出ている。仮足の中心の軸糸は細胞内の中心粒で終わっている。細胞は粘質物に覆われていて、粘質物の中に多数の骨片がある。

コメント

植物プランクトンはキクロテラ グロメラータが最も多かったが、細胞数は前回よりも減少した。本種は昨年この時期に増加し、4月8日の調査では1300/ml計数された種類である。動物プランクトンは太陽虫のラフィドキスティスとハネウデワムシが多かった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数 (個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Raphidocystis</i> sp.	340

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	230

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成15年4月7日

第1報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	22		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	300		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	60		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(珪) <i>Acnanthes minutissima</i>	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	30		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(渦) <i>Gymnodinium helveticum</i>	10		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	160		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	60		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	210		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	72	7.3	10.5
(珪) 珪藻綱	430	43.8	29.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.0	29.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	16.3	4.1
(み) みどり虫藻綱	60	6.1	0.9
(緑) 緑藻綱	250	25.5	25.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	982	総体積	6.69E+05
種 類 数	16	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。